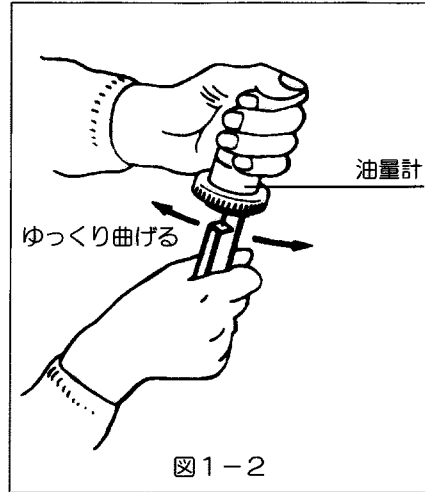
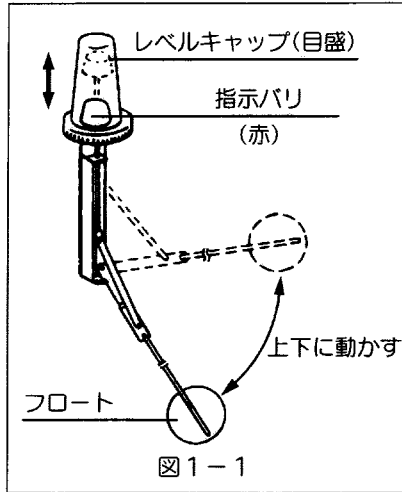


油タンク付属品取付方法

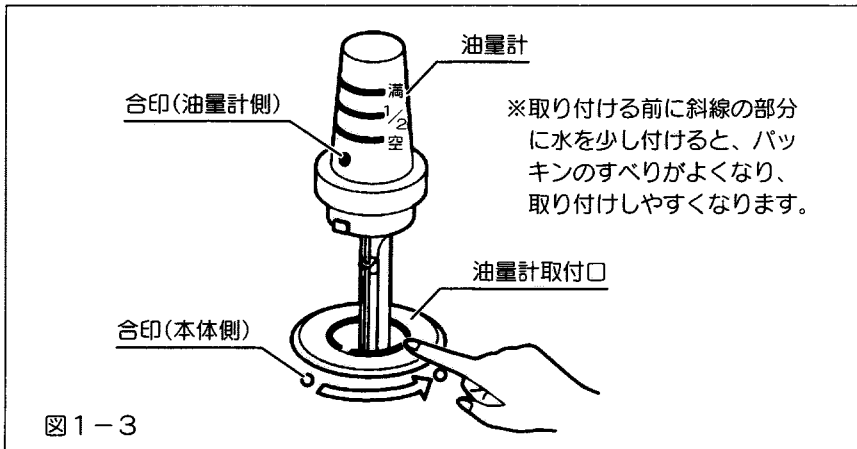
あらかじめ準備されたアンカーボルトや架台に据付ける際は、タンク本体とタンク脚は仮止めにしてから据付け、その後に本締めをしてください。

◇付属品の油量計は、図1の要領で取り付けてください。

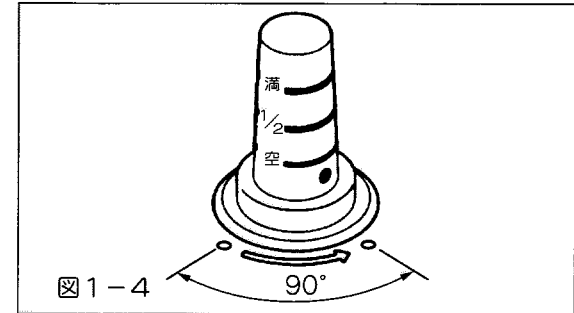
1. 取り付け前に、油量計が正しく動かか確認してください。
2. 特にフロートを上下に動かしたときに、レベルキャップ（目盛）と指示バリ（赤）があたらないことを確認してください。【図1-1】
3. スムーズに動かなかったりひっかかる場合には、油量計を両手に持ち、左右に曲げて指示バリの位置を調整し、レベルキャップにあたらないことを確認してから取り付けてください。【図1-2】



4. タンク本体上部の油量計取付口に、油量計を入れてください。（このとき、取付口の○印と油量計本体の●印を合わせてください。）【図1-3】



5. 次に90°まわして固定してください。（油量計は左ネジですから、タンク本体の刻印通り（反時計回り）にまわしてください。）【図1-4】



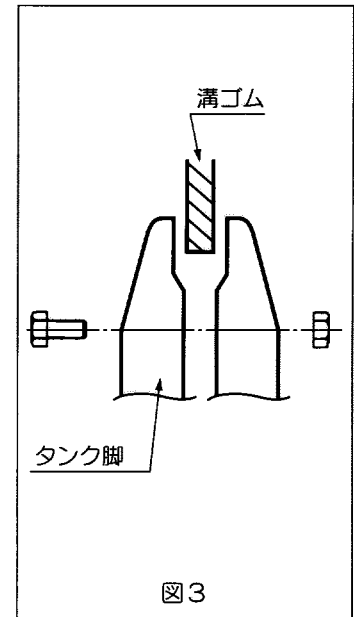
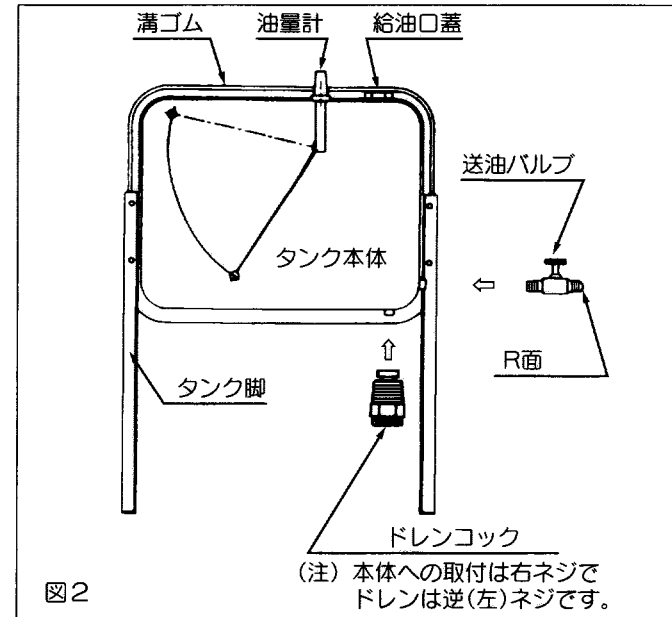
◇注意◇ フロートの動きが【図2】のとおりになっていることを再度確認してください。

◇付属品の溝ゴムは、図2のとおり取り付けてください。

※溝ゴムが固い場合には、湯につけますとやわらかくなります。

※溝ゴムは取り付け後タンク脚ではさみ込んで固定してください。【図3】

◇付属品のバルブ・コックはそれぞれ図2の位置に取り付けてください。



◇付属品の「注意シール」は本体の見やすいところに貼り付けてください。

◇油漏れがないことを確認してください。

※給油後は、送油バルブ、ドレンコックなどから油漏れがないことを確認してください。（ドレンコックは左ネジですから締めつけ方向に注意してください。）